

美容整形にかかわる belief

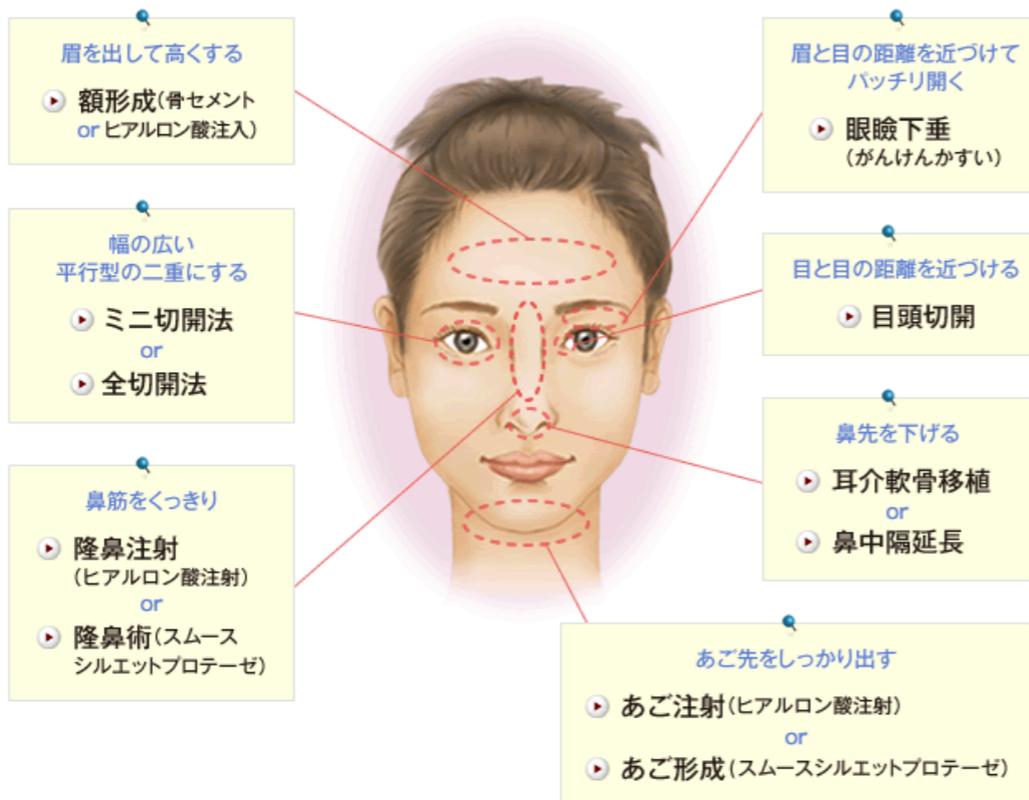
齊藤雄介
野海直子
山下結花



なりたい自分になる

なりたい顔？
童顔
西洋人顔
アイドル顔...

北川景子の鼻
になった！



なりたい体？

じゃあこれは整形？

(あえて定義しないまま…)

歯の矯正

コルセット

豊胸

髪のカラーリング

ピアス

アートメイク

脂肪吸引

顔のシミ除去

どこからが整形？

美容/贅沢

ファッション

美容整形

可逆的
日常的
手軽

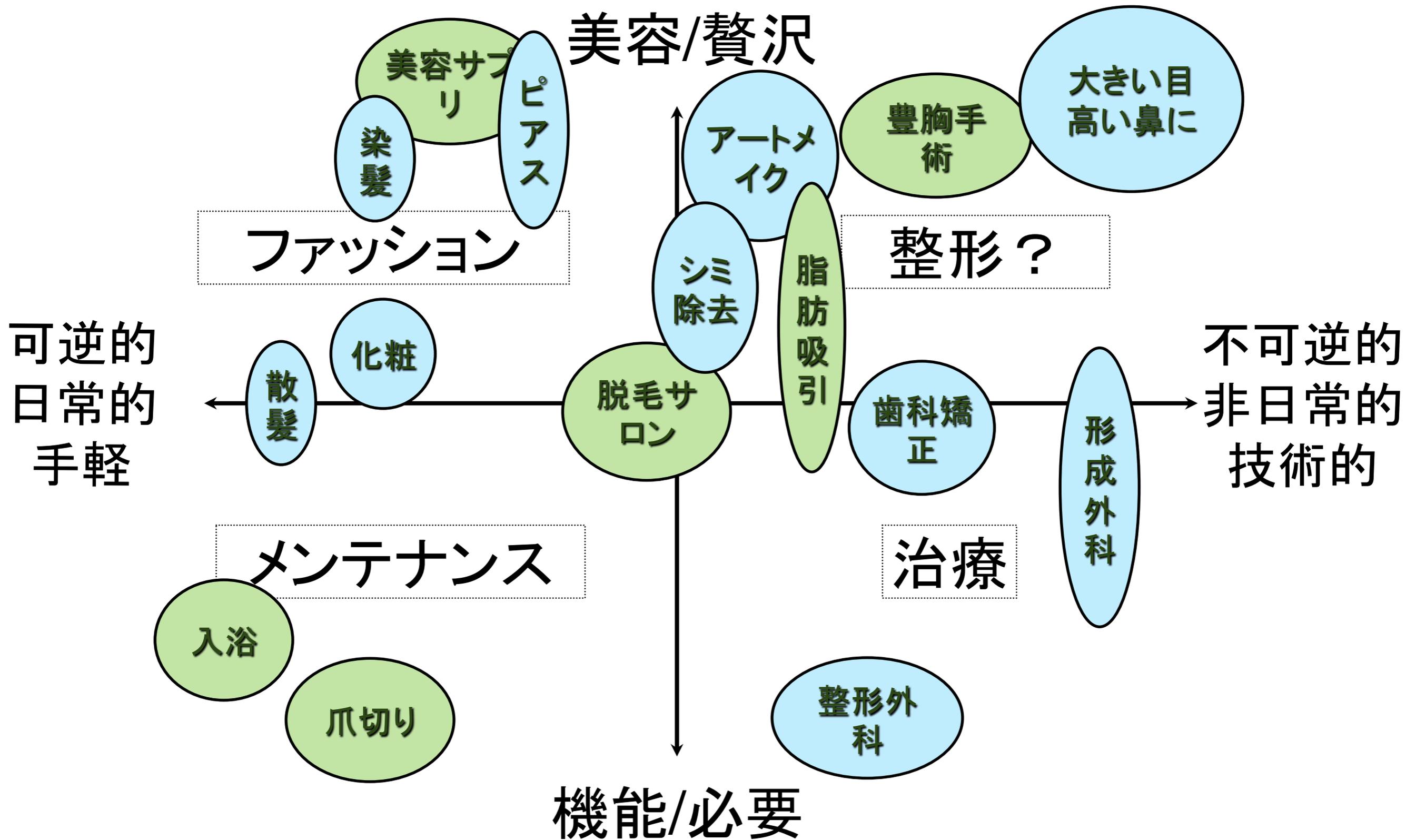
不可逆的
非日常的
技術的

メンテナンス

治療

機能/必要

私の感覚だと



境界の基準は？

判断するbelief

(善し悪し、したいしたくない、は後で)

- 機能？美容？——「視界を広げるため二重に」「歯科矯正も美容」「肥満過ぎて健康被害」
- 不可逆的？——「タトゥーいれてもとれる」
- メスを入れること？異物を入れること？
- 遺伝に逆らう？——植毛、豊胸「成長・加齢で変わること」は？何が個性で何が異常？
- 部位による？どこまで「自分」？
- 自然？不自然？すでに一般的か？

同じ基準でもその境界も文化、
個人の考え、状況によって異なる

美容外科

- **美容外科の定義(美容外科学会HPより)** : 身体各部における表面の器官、組織(眼、鼻、顔面、皮膚など)の形状について、これに起因する精神的負担の軽減、除去効果も考慮し、この形状をより美的に形成することを目的とする臨床医学の分野。
- 精神を支える、社会に受け入れられるための条件という意味では、美も機能？美容整形も治療の一種？
- 「自分で思う」だけでなく、ある文化の中で「美」と認められることが重要。どこまで美しければ健康か、は個人の価値観。

同じ「美しさ」が求められる時



ヤオ族



纏足(中国)



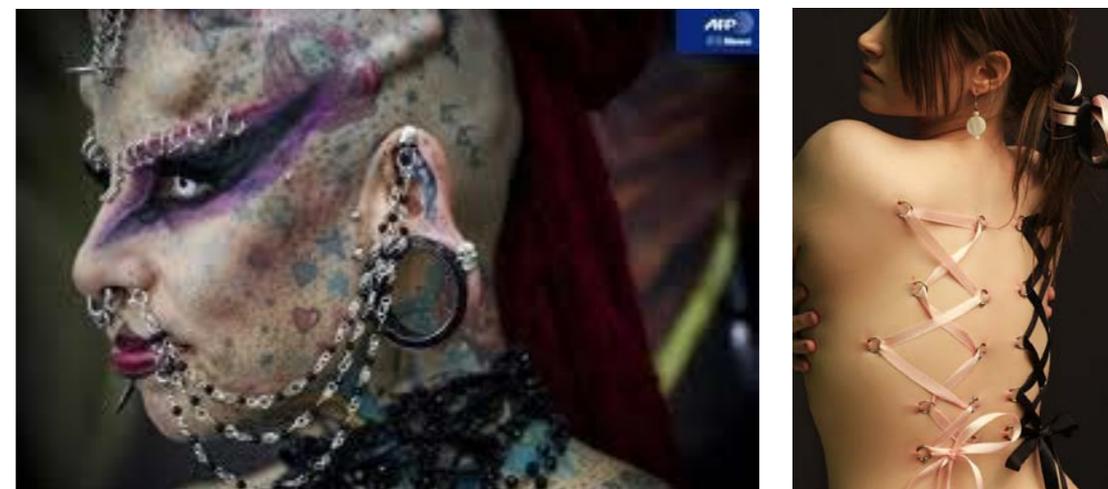
ムルシ族



ミスコリア



首長族



(身体改造)

その文化・コミュニティ内での美意識・習慣には強制力があるともいえる
技術があると「その形を追求する」が「普通」「自然」「マナー」にも

整形は良いこと？悪いこと？

<図1> 美容整形に対するイメージ(単一回答)

		良いこと・計			良くないこと・計		良いこと・計	良くないこと・計
		とても良いこと	まあ良いこと	どちらともいえない	あまり良くないこと	とても良くないこと		
		●凡例						
全体 (n=12,997)		2.5	21.3	45.6	20.6	10.1	23.8	30.7
年代別	18~29歳 (n=5,684)	2.5	21.1	42.2	23.0	11.1	23.6	34.1
	30~39歳 (n=7,313)	2.5	21.4	48.1	18.7	9.3	23.9	28.0
整形経験別	整形経験 (n=219)	20.5	47.5	26.5	2.7	2.7	68.0	5.4
	ブチ整形経験(造形系) (n=353)	20.1	55.0	20.7	2.5	1.7	75.1	4.2
	ブチ整形経験(肌系) (n=1095)	8.3	43.1	37.3	8.4	2.9	51.4	11.3
	整形未経験 (n=11530)	1.5	18.2	47.0	22.3	11.1	19.7	33.4

整形は良いこと？悪いこと？

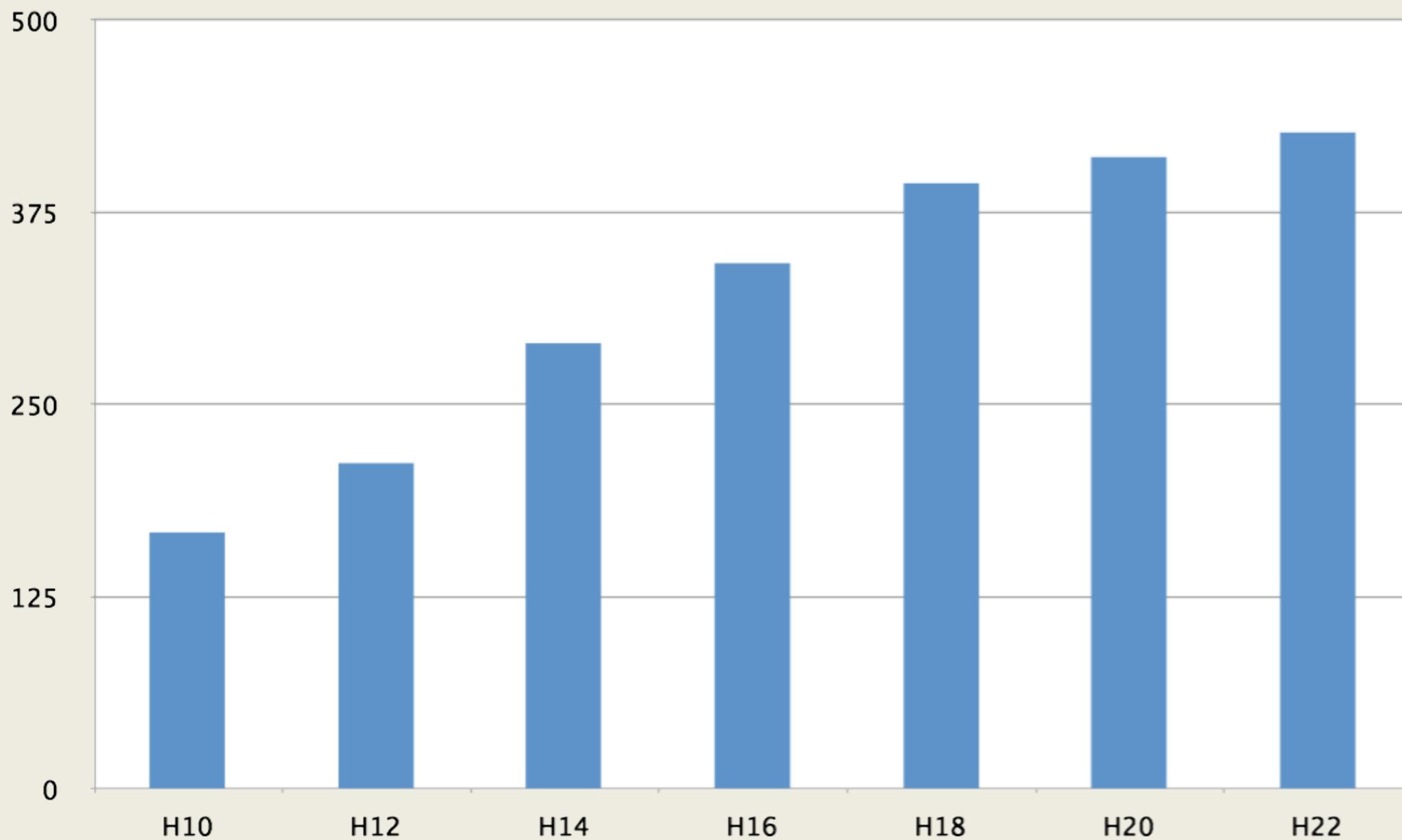
- **良いこと**だとする理由
- 整形をしてコンプレックスがなくなり、これからの人生が明るくなるならいい
- しわやシミを取るくらいなら、顔のベースは一緒だからいい
- → **個人の自由だから、本人が責任をとれば何をしても良い**
- → **容姿が整っている方が社会的に有利である**
- → **整形をする＝裕福であるという証**

整形は良いこと？悪いこと？

- **悪いこと**だとする理由
 - ・親からもらった体を傷つけるのは良くない
 - ・外見でなく内面を磨くべき
 - ・公表せずに整形しているのは詐欺のようだ
 - ・あとで整形をしたということに後悔するかもしれない
- → **整形というものの自体に“容姿ばかりを気にして浅はかだ”というイメージがある**

整形の今後

美容外科医師の推移



厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査より

美容整形の今後

- ・美容整形の分野は今後とも発展していくかも・・・
- ・料金・施術方法がより安く、簡単になり身近になっていくかも

美容医療サービス

- 美しくなりたいという願望をくすぐる「プチ整形」「レーザー脱毛」「豊胸」「脂肪吸引」等に関する広告が、雑誌やテレビ、チラシなどで目につきます。販売方法や広告に問題のあるものや、医師が行う美容医療施術において、皮膚障害や熱傷など危害を受けたという苦情相談が寄せられています。

美容医療サービスに関する相談

- ホームページを見て美容外科に出向き、フェイスリフトについて医師に相談したら相談料を請求された。相談料の説明がなく不満だ。
- 鼻の美容整形手術を受けたが希望通りにならず、3回目の手術で元に戻すことになった。クリニックを訴えることはできるか。
- 街でもらった無料脱毛チケットを使いクリニックで10分ほど施術を受けた後、全身脱毛の勧誘を受け契約をした。高額なので解約したい。
- 事前のカウンセリングで聞いていた内容と実際の施術の出来が違ったので、クリニックに返金を求めたが、「カウンセリングの不備はあっても手術は成功した」と言って対応しない。慰謝料を請求したい。
- 明日美容外科で顔のリフトアップ手術をする予定だが、不安になったので止めたい。カウンセリング時リスクの説明はなかったが解約料を支払う必要があるか。

美容医療サービスに関する相談のうち、 危害に関する相談

- 片目を4万円で二重まぶたにできるという広告を見て出向いたクリニックで、広告とは別の施術を勧められ50万円で手術を受けた。2週間経っても腫れが引かない。
- インターネット共同購入サイトで取得したチケットを利用し、皮膚科で顔面のキズのレーザー治療を受けたらヤケドした。対応を求めても対処されない。
- 通院していた美容外科で生え際のリフトアップを勧められ施術したが顔に内出血、腫れ、引きつりが現れた。残金を払いたくない。
- 皮膚科で光脱毛の施術を受けたところ、両ひじ下部分をやけどした。治療費、薬代は負担してもらったが謝罪もなく、対応の改善を求めたい。
- 2年前に美容外科で受けたレーザー治療で顔が赤くなり炎症を起こし、それがじわじわと全身に広がった。危険な治療は止めるべきだ。

某美容クリニックホームページ



当院は、厚生労働省より通達された「医療機関のホームページの内容の適切なあり方に関する指針」に従いホームページを修正しております。

患者様には、ご不便をおかけ致しますがご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

今後も美容整形業界のリーダーとして、下記、厚生労働省指針の医療機関ホームページガイドラインを浸透させるべく、率先して業界全体にも注意、指導していく所存です。

「国民・患者の利用者保護の観点から、不当に国民・患者を誘引する虚偽又は誇大な内容等のホームページに掲載すべきでない事項。(例えば、ビフォー・アフター写真は加工を行わず同じ条件で掲載する。キャンペーン情報は掲載しない等。) 国民・患者に正確な情報が提供され、その選択を支援する観点から、通常必要とされる治療内容、費用、治療のリスク等のホームページに掲載すべき事項を示す。」

[医療機関ホームページガイドライン](#) 

医療機関のホームページの内容の適切なあり方に関する指針 (医療機関ホームページガイドライン)

- 本指針は、美容医療サービス等の自由診療を行う医療機関のホームページに掲載されている情報を契機として発生するトラブルに対して、適切な対応が求められる事態が生じている状況等を踏まえ、インターネット上の医療機関のホームページ(以下「ホームページ」という。)全般の内容に関する規範を定め、関係団体等による自主的な取組を促すものである。

顔の形決める5遺伝子発見＝目の間隔や鼻の高さに影響—将来はDNAから似顔絵？

- 目の間隔や鼻の高さなどに影響を与える遺伝子を5種類発見したと、オランダのエラスムス大などの国際研究チームが14日、米科学誌プロス・ジェネティクスに発表した。
- 研究チームは今後、DNAの調査対象者や顔の形の測定点を増やして解析すれば、顔の形を決める遺伝子がさらに見つかる可能性が高いと指摘。目や髪の色は既にDNAからかなり高い確率で予測できるようになっており、将来は犯罪捜査の際、容疑者のDNAから似顔絵を作れるかもしれないという。

デザイナーベビー

- デザイナーベビー (designer baby) とは、受精卵の段階で遺伝子操作を行なうことによって、親が望む外見や体力・知力等を持たせた子供の総称。親がその子供の特徴をまるでデザインするかのようであるためそう呼ばれる。デザイナーチャイルド (designer child)、ジーンリッチ (gene rich) とも呼ばれる。優生学 (eugenics) 及び遺伝子決定論 と関係が深い。

出典: wikipedia

オックスフォード教授「デザイナーベビーは道徳的に正しい」

- 「倫理的に優れた子供を育むという観点から、いわゆる“デザイナーベビー”を作ることは、道徳上の義務として考えることができる」
- 子供が最高の人生を送れるよう保障しようとする行為は、責任ある子育ての一環ではないか？
- 遺伝性疾患、ダウン症候群、乳癌などを対象にした着床前診断による遺伝性疾患スクリーニングはすでに広く受け入れられている。“ラショナルデザイン”は、その延長線に過ぎない